

1. FUJI 2. TAKA 3. CHALLENGE



たかおか

発行：まちづくり協議会 編集：まちづくり新聞編集委員会 連絡先：まちづくりセンター (Tel.71-3215)

区民の声で、「未来のまちづくり」

■□市長行政懇談会で要望を直訴、回答を求める■□

恒例の富士市長と地区との直接対話の場である『令和5年度鷹岡地区行政懇談会』が10月16日夜、まちづくりセンターで開かれました。出席者は、主催の鷹岡地区まちづくり協議会(遠藤 晃会長)を構成する区長会や生涯学習推進会など各種団体の役員等で50人余。開催にあたりまちづくり協議会では構成団体から提出された要望を精査し、地区発展に向けての緊急かつ重要な課題3項目を取り上げて提示し、回答を得ました。以下、鷹岡まちづくり新聞で、それら3項目と当局回答の概要を2ページにまとめ、ここにお伝えします。



🔊 小長井市長を招いての「行政懇談会」の会場

(1) 王子エフテックス レンガ造り倉庫保存に対する市の考えと対応について(直接回答)

レンガ造りの倉庫は操業時の富士製紙第一工場の姿を今に留める貴重な産業遺産であり、その文化財価値については、再三行政懇談会で取り上げて質問をしてきました。鷹岡地区ではコロナ収束後に、王子エフテックスの協力を得て施設見学会の再開を考えておりましたが、会社側から「レンガ造り倉庫が消防法上の基準を満たしていないため人が中に立ち入ることができない」との連絡を受け、施設見学は実施できないことが判明しました。今後、倉庫として使用できない以上、利用価値がなくなり、いつ処分されてもおかしくない状態となっています。

再度、市当局に貴重な産業遺産であるレンガ造り倉庫に対する考えを伺うとともに、会社側のレンガ造り倉庫に対する計画が示される前に、同社に当該倉庫の存続の働き掛けと消防法上の基準を満たせるように必要な支援を行っていただけないものかについて、回答を求めました。

当局からは、「旧富士製紙第一工場は、本市の近代産業を支えてきた、後世に残すべき、貴重な文化財であると考えております。平成27年3月には、王子エフテックス株式会社東海工場長に対し、レンガ造り建造物の価値

提示し、回答を得た3項目は次の通りです。

- (1) 王子エフテックス レンガ造り倉庫保存に対する市の考えと対応について
- (2) 龍巖橋南、潤井川左岸の整備について
- (3) 西富士道路の鷹岡地区へのインターチェンジ設置について

いずれの項目も鷹岡地区の長年の懸案事項として、これまでの経過を踏まえての継続要望ですが、(1)と(2)は質疑を交えての直接回答、(3)は行政懇談会の時間的制約もあるため、文書により回答を受けました。懇談会の前半は小長井市長から市が取り組む主要施策や喫緊の課題等についての市政報告があり、後半、提示3項目に対して、市側から小長井市長をはじめ森田副市長、要望に係わる担当課長が出席し、回答を受けるかたちで進められました。

2面に続く

を認識され、未永く保存していただけるようお願いしました。平成30年から2か年に亘り実施した市内の近代産業遺産調査の際、同建造物の測量調査を改めて実施し、その成果を『富士市の近代産業遺産報告書』として刊行いたしました。調査と並行して同工場長に対し、保存と公開にご協力をいただけるよう、再度お願いをしております」との回答がありました。

また、今回、消防法の基準を満たさずレンガ造り倉庫への立ち入りが禁止となった事案については、「消防の立入検査において自動火災報知設備等の消防用設備の不備の未改修が見つかったことから、火災を予防するため、消防用設備の改修を行わない間はレンガ造り倉庫を含めた施設を封鎖し、使用しないことで対応するよう提案しました。今後、施設を使用する際は、消防設備について消防法の基準通りの設置を指導したことから、現在、この課題について王子エフテックス東海工場にて対応方法を検討していると同っております」としたほか、消防法上の基準を満たすための市からの支援については、「現状では、文化財、産業、消防に関連した有効な制度はないが、本市における製紙業の歴史を語る上で欠かせないレンガ造り倉庫の保存と活用も含め、今後とも会社側とは良好な関係を築きながら、より良い方法を協議してまいります」との見解を示しました。

回答を受け、遠藤会長は、「今のままで行くと将来的には解体、ということもある意味現実的ではないのか…との危惧を持っています。コロナ前には1年に1、2回は公開してもいい…と受け止め、見学の計画をしようとしていたのですが、コロナで出来なくなり、その過程で公開ができない状態になってしまいました。地元としては倉庫の中が見ることができないということで、多くの皆さんがレンガ造り倉庫の貴重な存在をなかなか理解できないということが現状です。保存については、市を通じてお願いをしていくしか手段がないのではないのかという状況に追い込まれており、ぜひ、足しげく王子エフテックスと接触して、将来いい方向に進むよう努力を重ねていただきたい」と、なお一層の取り組みを強く要望しました。

(2) 龍巖橋南、潤井川左岸の整備について (直接回答)

龍巖橋南、潤井川左岸は、富士山、桜、菜の花のビュースポットとして観光客で賑わい、今年、旅行専門誌が選ぶ桜の名所として日本一に選ばれたことから、来年は、さらに多くの人が集まることが予測されます。

潤井川左岸と同様に全国的に注目されている大淵笹場では、大型バスの駐車場や立派なトイレの整備が進んでいます。今後、観光名所としてこの場所をどのように発展させるのか、駐車場やトイレの整備など、基本的な考え方を示していただき、この時期、狭隘な滝戸橋は人が多く危険な状態であり、市はどのような安全対策を講ずるのか、回答を求めました。

当局から「桜のシーズンには全国から来訪者や写真撮影者が訪れ、海外からの来訪者も見られるようになりました。賑わいの一方で、来訪者の安全確保や周辺道路の混雑緩和などの課題も挙げられております。こ

れらの課題に対し、市は3月下旬から4月中旬にかけて、人の滞留回避と安全確保を図るため、臨時の鑑賞エリアを設置、警備員による周辺道路の交通警備も実施、加えて近隣事業所の駐車場を借用し観光バス用駐車場として確保するとともに仮設トイレを設置するなど、交通環境や受入環境の整備に努めています。

駐車場やトイレの整備については、多くの来訪者で賑わうのは桜の開花シーズンのおよそ2週間と限られていることから現状の対応を継続し、引き続き最寄りのJR入山瀬駅の利用を周知してまいります。安全対策面は、これまでどおり、安全確保に十分留意するとともに、シーズン期間中の土日に交通規制を伴うイベント等を実施することで区域内への車の侵入を防ぐ対策を検討しております」との回答がありました。

出席者からは、「桜観賞シーズンの一定期間、富士市は観光サイドから交通整理員や仮設トイレを配置しているが、姑息的な対応と言わざるを得ない。現状を鑑み、富士市が主体的に、かつ可及的速やかに潤井川左岸の整備に取り組むべき」とする意見や「回答の中に、現状の対応を継続しとの文言があるが、現在トイレは1つしかない。ある程度の人数の方が来ている中、1つで足りるのか。抜本的に市がどうしていくのか」といった市が取り組むべき課題を投げかける発言が相次いであがりました。

(3) 西富士道路の鷹岡地区へのインターチェンジ設置について(文書回答)

昨年度は当局より「西富士道路の鷹岡地区へのインターチェンジ設置は、市としても実現に向けて進めなければならない取り組みであると認識し、国が事業主体となり、直轄事業として取り組んでいただけるよう、富士商工会議所とともに国への要望活動を実施している」との回答を受けました。そこでこの一年、具体的にどのような進展があったのか、進捗状況と今後の見通しを伺うとともに、インターチェンジ設置場所として富士宮市からも要望が出ているとのことのように、鷹岡地区でのインターチェンジ設置の実現の見通しについて尋ねました。

当局からは、「要望活動は富士商工会議所とともに進んでおり、今年度は8月に静岡国道事務所並びに中部地方整備局に対する要望活動を終え、10月下旬に本省などを訪ねる予定。また、インターチェンジ設置場所については、現在、富士宮市と調整、協議を進めているところですが、本市としては、県道一色久沢線との交差箇所付近が最適と考えており、実際の要望活動において、この箇所への設置の早期実現をお願いしております。この位置に設置することで、鷹岡地区、天間地区及び大淵地区から西富士道路へアクセスしやすくなるとともに、新富士インターチェンジ周辺の物流施設・富士山フロント工業団地周辺等の交通利便性向上及び更なる土地利用が期待できます。産業・経済界の期待も大きいことから富士市と富士商工会議所が一体となって、引き続き国に働きかけ、実現に向け取り組んでいきます」との回答がありました。

以上3項目の要望内容と回答は文書化を図っており、まちづくりセンターで閲覧ができます。

令和5年度 鷹岡地区食育推進事業

田子の浦のしらす体験講座

主催：鷹岡地区まちづくり協議会こども部会

協力：田子の浦漁業協同組合・富士市食育推進室

鷹岡地区は、今年度「食育推進地区」に指定されています。そこで、まちづくり協議会こども部会では、食育について推進していくための事業として、全国に誇る地元の名産である田子の浦のしらすについての理解と愛着を深めてもらうため、10月7日、鷹岡小学校の児童と保護者を対象とした体験講座を開催しました！

また、近年、子供が魚を食べなくなったと言われていますが、魚のおいしさや栄養について学ぶことで、魚に興味を持ち、健康づくりや地産地消といった食育に繋がりたいと考え、しらすや栄養についての講話、漁船の乗船体験、冷凍庫体験、しらす丼実食など、盛り沢山の内容で行いました。



👉 講話では、田子の浦漁業協同組合の望月さん、富士市食育推進室の高野さんにお話ししていただきました。

「しらすは何の魚の子供？」皆さん答えられますか???



👉 楽しみにしていた、しらす丼実食です！
この日のしらすは特においしく感じ、皆さん完食でした。

👉 しらすが冷凍されている冷凍庫の中へ。
まつ毛も凍るマイナスの世界を体験しました。



新鮮で身に傷が少ない田子の浦のしらすは
釜揚げにすると「し」の形になるんです！





たかび

災害から復旧するまでの数日間を支える「非常用備蓄品」以外に避難するときに持ち出す「非常用持ち出し品」(必要最低限のもの)も用意しておきましょう。



すぐ持ち出せるリュックサックがおすすめ

非常用持ち出し品の準備はできていますか?の巻

非常用持ち出し品リスト

◎医療品など

- 救急セット
- 常備薬
- お薬手帳
- マスク
- 生理用品



◎非常食・水

- 飲料水
- 乾パン・クラッカー
- アルファ米
- 缶詰・レトルト食品



◎その他

- 筆記用具
- ビニール袋
- 防災頭巾・ヘルメット
- 予備のめがね
- 歯みがきセット



◎懐中電灯など

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- ライター・マッチ



◎貴重品

- 現金(小銭も)
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 保険証
- 免許証



◎衣類

- 衣類
- ハンカチ・タオル
- 軍手・手袋
- 雨具



すばやく避難できるように、**必要最低限**のものを準備しておきましょう!

ポイント

- ◆ 目につきやすい場所に置きましよう。
- ◆ 家族構成等を考えて必要な分だけ用意。欲張りすぎると避難が大変になります。
- ◆ ラジオは正しい情報の収集や避難行動のサポートをする重要な防災グッズの一つです。電
- 池も多めに用意しましょう。

まち協防災部会だより

「いざ!」という時に備え避難所訓練

巨大地震など大規模災害に備える市指定避難所の訓練が9月 16 日に鷹岡小学校、24 日に鷹岡中学校で行われました。鷹岡地区のまちづくり協議会(以下、「まち協」という。)の防災部会(石川博久部会長)が取り組んだもので、「いざ!」という時に備え、多方面から体制をチェックしました。

まち協の防災部会は 2018 年(平成 30 年)に富士市の避難所運営マニュアルをもとに地区版の避難所運営マニュアルを作成、全世帯に配布しています。区(町内会)を基本とする自主防災会の機能を越えた避難者の受け入れや支援物資の提供を担う市指定の鷹岡地区の避難所は鷹岡小と鷹岡中の 2 カ所が指定されていますが、その運営マニュアルの作成、配布直後、マニュアルに沿った訓練を行っているものの、その後はコロナ禍により中断を余儀なくされ、今回が 4 年ぶりの訓練でした。

防災部会とまちづくりセンターが連携しての訓練で、避難所 2 カ所に合わせて防災部会役員をはじめ自主防災会、生涯学習推進会、福祉推進会などから 100 人余が参加。阪神・淡路大震災や東日本大震災の被害状況や揺れの違いなどを映像をもって把握したほか、避難者エリアや負傷者の収容スペース、仮設トイレ設置、備蓄倉庫などを視察。視察後には、質疑の場が設けられ、質問のほか要望も相次ぎました。

「自らの生命・財産は自ら守る」が基本とされていますが、一人暮らしの高齢者などの災害弱者のためにも地道な訓練の積み重ねで課題を一つ一つクリア、「地域の生命・財産はみんなで守る」を目指したいものです。



鷹岡中体育館で訓練説明



防災倉庫で備蓄資材把握

クリーンアップ 鷹岡 パワー結集

鷹岡地区では、区単位で区内の地域公園の清掃活動が行われていますが、これに加え、まちづくり協議会をはじめ協議会を構成する各種団体によって地区全体の公共施設であるまちづくりセンターや、富士市を代表する桜名所の潤井川左岸のクリーン作戦が行われています。『クリーンアップ 鷹岡 パワー結集』と題して、その取り組みを紹介します。

★ まちセンのクリーン作戦 ★

9月17日、鷹岡まちづくりセンターの草刈りなどの清掃作業が行われました。

作業は、まちづくり協議会のほか、区長会、生涯学習推進会など地区主要団体が交代で年3回から4回、行っているボランティア活動で、今回は、まちづくり協議会の事務局員やセンター職員など20人余が参加、回収した雑草や枯れ葉などの成果は特大のビニール袋50袋でした。

来年1月には、センター利用者団体に参加を呼び掛けるセンター内の大掃除が予定されています。

★ 潤井川左岸のクリーン作戦 ★

11月12日には、恒例の潤井川左岸のクリーン作戦が行われました。

潤井川左岸の龍巖淵下流は、春になれば潤井川の清流、桜並木の桜花、そして菜の花の3点をバックに富士山を眺望できる景勝地、富士市を代表する桜名所に位置付けられています。

クリーン作戦は、来春の開花時期を前に、まちづくり協議会の構成団体や鷹岡地区建設業協会などがスクラムを組んでの恒例の取り組みです。



9月のまちセンの外回りのクリーン作戦



11月12日の潤井川左岸のクリーン作戦

TAKAOKA HOT NEWS

☆ わんぱく相撲で鷹岡小4年の岩上君、全国準優勝 ☆

今夏、東京都内の両国国技館で開かれた「第38回わんぱく相撲全国大会」小学4年生の部で鷹岡小の岩上毘優雅君が準優勝。9月には、関係者と共に富士市長に“全国準V”を報告しました。

市長訪問・報告を伝える新聞記事によれば、岩上君は元横綱の白鵬に憧れて6歳で相撲を始め、着実に力をつけ、今年の4年生の部では身長161㌢、体重99㌔の体格を生かした押し相撲を武器に5月の市内大会、6月の県大会を制して7月の全国大会に…。全国でも決勝に進出し、ひと回り大きい岐阜県の選手と対戦、もろ差して土俵際まで追い込んだものの一瞬の隙を突かれて小手投げで惜敗。でも、全国準優勝は、「凄い、立派」ですネ。

☆ 社明作文で鷹岡中2年の佐藤真琴さんの作品が市長賞に輝く ☆

小中学生を対象とした「第73回社会を明るくする運動作文コンテスト」の富士市の審査が終了、中学生の部で鷹岡中2年生の佐藤真琴さんの作品『生きづらさを生きていく』が第1席の市長賞に輝きました。

保護司会が主軸となつての作文コンテストで、本年度は小学生の部に276点、中学生の部に383点の応募があり、小学生の部2点、中学生の部2点の計4点が市長賞に選ばれ、富士市代表作品として県審査会に出品されました。

☆ 令和5年度の市長表彰に海野庄三氏が浴す ☆

令和5年度の「富士市表彰式典」が市制施行記念日の11月1日にロゼシアターで開かれ、「市長表彰」「地域社会貢献者褒賞」「教育文化スポーツ奨励賞」の3つの表彰のうち、鷹岡地区関係では、元市議の海野庄三氏（厚原西区）が市勢の興隆伸展に多大な功績を築いた人に贈られる市長表彰の荣誉に浴しました。



富士市長に全国準優勝を伝える新聞紙面です

ひとづくり まちづくり 全開

3年余にわたって世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症、日本では、ようやく今年5月8日から、2類からインフルエンザと同じ5類に移行。この感染対策緩和を受け、それまで中止や規模縮小などが求められてきたイベント関係が復活、鷹岡地区でも、ひとづくり&まちづくりに視点を当てたイベントが復活、全開を迎えています。以下、ピックアップすると…。

鷹岡まつり 今年フル開催

10月8日、JR入山瀬駅北の中央自動車学校駐車場で『鷹岡まつり』が開かれました。

まつりは、2008年（平成20年）に「まつりを通して一体感を図り、鷹岡を元気に…」と神輿集団の富士鷹勇會が中心となって実行委員会を組織して初開催。当初は、JA鷹岡支店駐車場を会場に開き、会場が中央自動車学校の協力を得て拡大した以降は、富士鷹勇會による大神輿と和太鼓集団の鬼太鼓座（おんでござ）の競演を最大のウリに、人気も人出も上昇中です。

コロナ禍では、来場者に感染症対策を求め、「ワッショイ&ソイヨ」の神輿の掛け声もトーンダウンが必要とされたものの、フル開催となった今年はパワー全開。大神輿の練り歩きには、市内外の神輿集団も賛助出演など、大きな盛り上がりを見せました。

英霊の冥福祈る殉国者慰霊祭

10月14日、入山瀬浅間神社境内に建立されている戦没者慰霊塔で『第70回鷹岡地区殉国者慰霊祭』が開かれました。

旧鷹岡町の日露戦争以降の戦没者は348柱を数え、その慰霊塔は旧鷹岡町全住民の浄財で1955年（昭和30年）に誕生。以後、有志で組織する奉賛会と遺族会によって毎年10月、お国のために散った英霊の冥福を祈る慰霊祭が開かれています。

コロナ禍では、関係者のみで開催。今年は、4年ぶりに市長や市議会議長など来賓を招いての開催でした。

地区文化祭、展示&舞台に笑顔広がる

鷹岡地区を代表するイベント、『地区文化祭』が10月21日、22日の土、日の2日間、まちづくりセンターで開かれました。

生涯学習推進会が主催、成人教育部が主管し、まちづくり協議会や区長会の協賛を得ての開催。コロナ禍の昨年は展示のみ、今年はステージ部門や食を中心とした出店も加わってのフル開催。展示では、竹細工の風車体験もあり、参加団体の熱意が実る形で会場には笑顔が広がりました。

インフォメーション

【まゆ玉作りの参加親子募集】 鷹岡地区福祉推進会は、来年1月12日（金）にまちづくりセンターで開く新春恒例事業『親子まゆ玉作り』の参加者を募集します。

地区在住の未就学児と保護者が対象。定員15組。参加は無料。締め切りは12月25日（月）。申し込み及び問い合わせはまちづくりセンター（TEL71-3215）。

【お詫びと訂正】 前号第50号のさくら祭り協賛企業名に間違いがありました。「特殊東海エココロジー」とあるのは「特種東海エココロジー」の間違いです。お詫びして訂正します。



夕刻からまつり最高潮に…



殉国者慰霊祭、植田徹理事長の挨拶



10月21、22日開催の文化祭の一場面

【編集後記】 月1回ペースで開催のまち協会合でのこと。自由討議の場で9月27日に富士宮市内の病院で発生した富士市在住の男性が長期入院中の長女と妻を刺殺、自らも院内で自殺したとみられる衝撃的な悲惨な事件をとらえ、「私達は安心・安全な鷹岡に向け何ができるか、いま一度、考えたい」と。全く同感、貴重な意見でした。同時に、地区の皆さんに情報を届ける広報部会への頂門の一针とも受け止めています。（S・U）